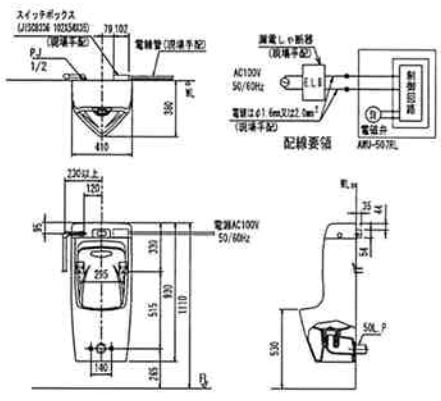
施工説明書

センサー一体形ストール小便器

AWU-507RAMP	(壁掛タイプ、VU 管・VP 管両用、アクエナジー式)	AWU-507RP	(壁掛タイプ、VU 管・VP 管両用、100V 式)
AWU-507RAML	(壁掛タイプ、鉛管用、アクエナジー式)	AWU-507RL	(壁掛タイプ、鉛管用、100V 式)
AWU-807RAMP	(床置タイプ、VU 管・VP 管両用、アクエナジー式)	AWU-807RP	(床置タイプ、VU 管・VP 管両用、100V 式)
AWU-807RAML	(床置タイプ、鉛管用、アクエナジー式)	AWU-807RL	(床置タイプ、鉛管用、100V 式)

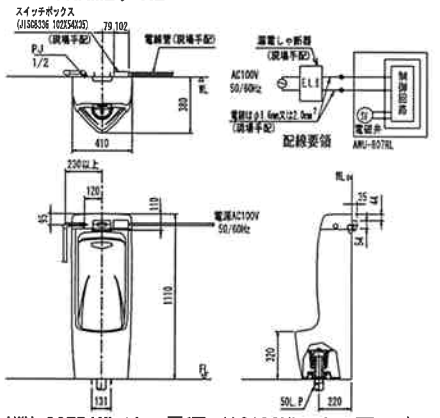
施工完了図

AWU-507RAML、RL



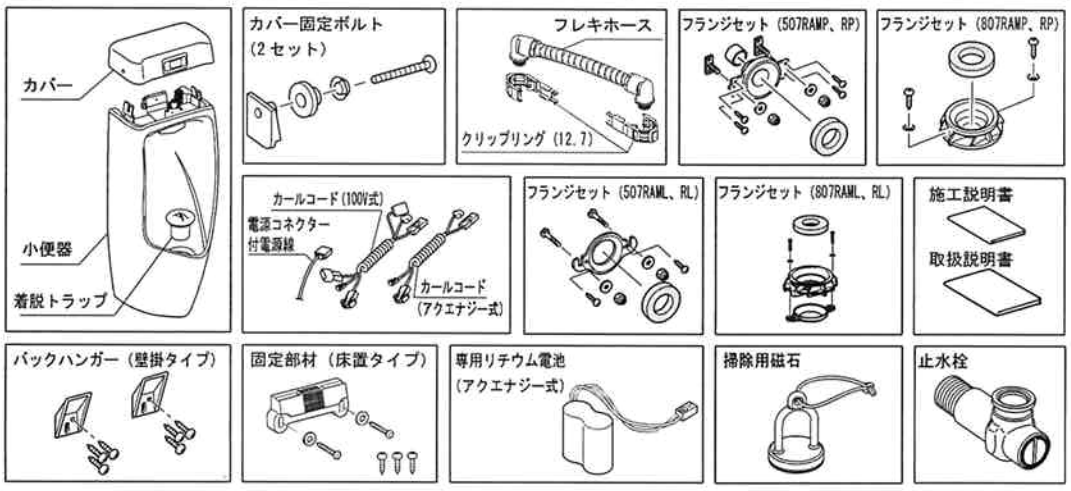
※AWU-507RAML は、電源（AC100V）は不要です。

AWU-807RAML、RL



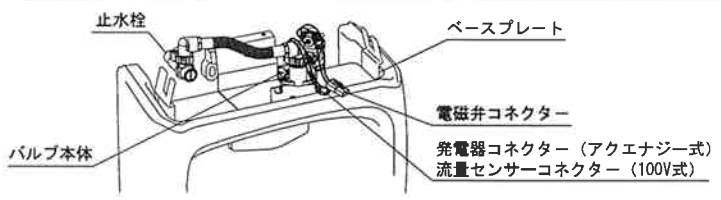
※AWU-807RAML は、電源（AC100V）は不要です。

梱包明細

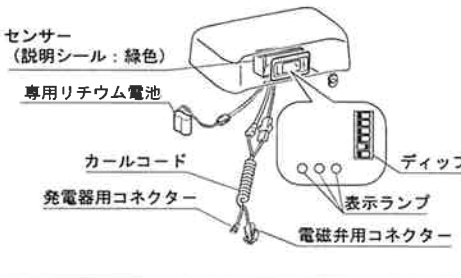


各部の名称

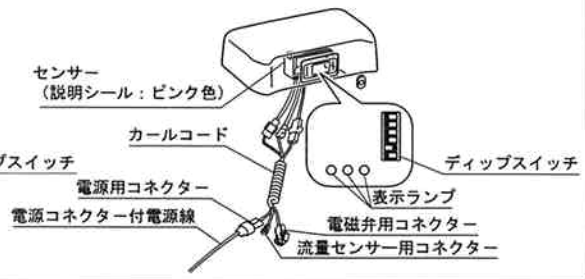
≪機構部≫



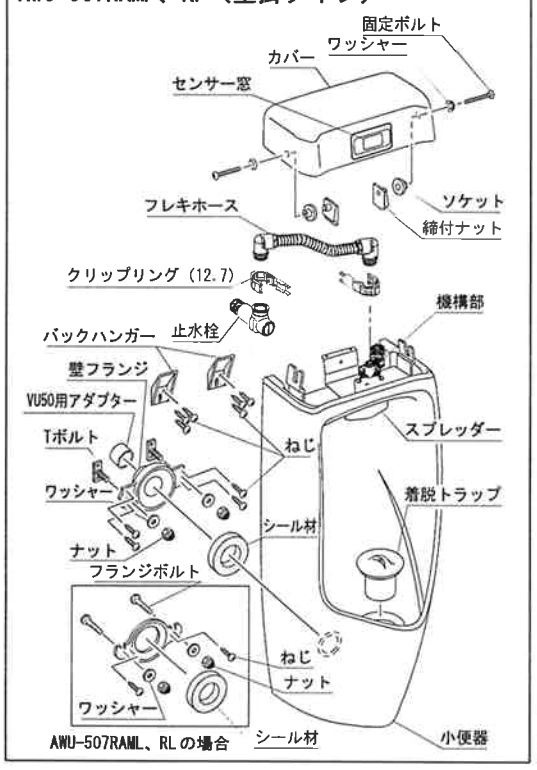
≪カバー部（アクエナジー式）≫



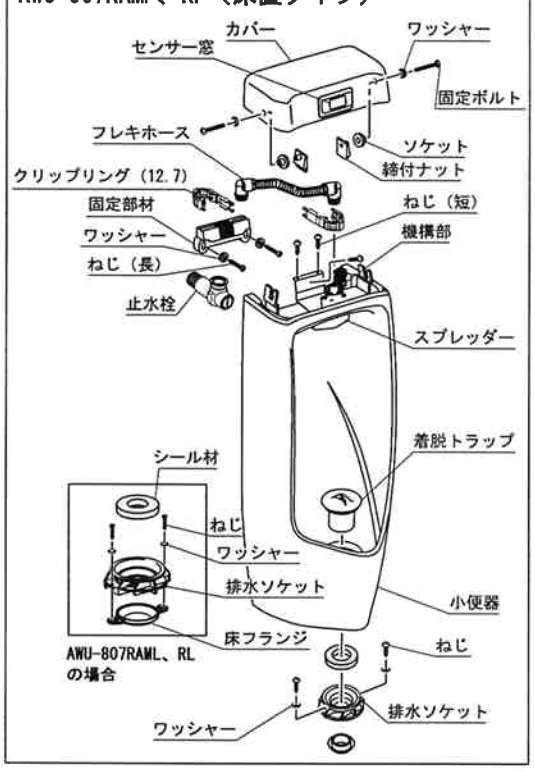
≪カバー部（100V 式）≫



AWU-507RAMP、RP（壁掛タイプ）



AWU-807RAMP、RP（床置タイプ）



仕様

品番	AWU-507RAMP	AWU-507RAML	AWU-507RP	AWU-507RL	AWU-807RAMP	AWU-807RAML	AWU-807RP	AWU-807RL
小便器	壁掛タイプ				床置タイプ			
商品寸法	410（幅）×380（奥行）×930（高さ）				410（幅）×380（奥行）×1110（高さ）			
商品重量	約43kg				約51kg			
電源	自己発電式 (※注)専用リチウム電池付		AC100V 50/60Hz		自己発電式 (※注)専用リチウム電池付		AC100V 50/60Hz	
消費電力	常時4W 以下　バルブ作動時8W 以下							
感知距離	約400 mm							
感知幅	約φ200 mm							
使用周囲温度	0～40℃　※寒冷地には対応しておりません。							
給水圧力	最低必要圧力：0.07MPa（流動時）、最高水圧：0.75MPa（流動時）							
給水接続口径	PJ1/2							
排水接続口径	VU50、VP50	LP50	VU50、VP50	LP50	VU50、VP50	LP50	VU50、VP50	LP50
予備洗浄	1．あり、2．なし　より選択可能（出荷時は1に設定）							
本洗浄	1．スーパーAI 節水モード　：1～2L（出荷時は1に設定） 2．AI 節水モード　：2～4L 3．固定モード　：4L 固定							
設備保護洗浄	1．スーパーAI 節水モード　：2時間連続して使用者がない場合、自動的に2L 洗浄（出荷時は1に設定） 2．AI 節水モード、固定モード　：8時間連続して使用者がない場合、自動的に4L 洗浄 ※この他に節水機能に関係なく、「2時間毎4L 洗浄」、「24時間毎4L 洗浄」、「しない」にも設定できます。ただし「24時間毎4L 洗浄」、「しない」に設定した場合、排水管に尿石が溜まり、つまりやすくなり、尿臭を感じる恐れがあります。またアクエナジー式の場合、発電量が減少してしまうため、専用リチウム電池の消耗が早くなります。							
その他の節水機能	・本洗浄中に使用者を感知すると洗浄を中止。 ・感知後4秒以内に非感知の場合、本洗浄なし。							
掃除機能	掃除用磁石スイッチ（付属品）で掃除洗浄ができます。 ※OK-3RC（掃除用リモコン）には対応していません。							
使用水	上水							

※注：専用リチウム電池（品番：A-4025）は、器具保護のため、4年を目安に交換してください。

安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この施工説明書は取扱説明書と共にお客さまで保管頂くよう依頼してください。

用語および記号の説明

警告……取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意……取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠……「注意しなさい！」（上記の「警告」、「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

⚠警告

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
  ※発火したり、異常作動してケガをすることがあります。
- バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では、使用しないでください。
  ※発火・ショート・感電・故障の原因となります。
  カバー部に水をかけないでください。
- ※発火・ショート・感電・故障の原因となります。
- 水での丸洗いはおやめください。
  ※発火・ショート・感電・故障の原因となります。
- コネクタの抜き差しは必ず乾いた手で行ってください。
  ※ぬれた手で行うと、感電する恐れがあります。

⚠注意

- 陶器は割れものです。
  ● 施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。
  ● 施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。
  ※破損部でケガをしたり、漏水により家財等を濡らす恐れがあります。
- カバーは安定した場所に置いて作業をしてください。
  ※カバーを不安定な場所に置くと、作業中にカバーが落ち、ケガをする恐れがあります。
- (100V 式の場合)
  交流100V 以外では使用しないでください。
  ※発火・ショート・感電の原因となります。
- (100V 式の場合)
  電気配線工事は、必ず資格を持った電気工事士が行ってください。
  ※ショート・感電・火災の恐れがあります。
- (100V 式の場合)
  万一の際の危険防止のため、電源の一次側に1ヶ所漏電しゃ断器を設置してください。
  ※故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
- 上水道以外は使用しないでください。
  ※機械の内部腐食により、発火・ショート・感電・故障の原因となります。
- シール材は排水口の底面および側壁にしっかり密着させてください。
  ※漏水の原因となります。
- 止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。
  ※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。
- コード類を傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
  ※電源コードが破損し、発火・ショート・感電の原因となります。
- (100V 式の場合)
  電源コネクター付電源線と電源線の接続点は必ず自己融着テープにて防水処理を行ってください。
  ※感電・ショートの恐れがあります。
- 電源コネクター付電源線・カールコードが傷んでいるときは使用しないでください。
  ※発火・ショート・感電の原因となります。

専用リチウム電池についての安全上のご注意

下記のことを必ずお守りください。漏液・破損・発火・発熱・機器の故障の原因となります。

⚠警告
- 電池を充電しないでください。
- 電池を分解・加工・改造しないでください。
- 電池を加熱したり、火中に投げ入れないでください。
- 電池を強制放電しないでください。
- 付属の専用リチウム電池以外の電池を使用しないでください。

⚠注意
- 電池の液が漏れたときは、液をきれいに拭き取ってください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。漏液した電池は使用しないでください。
- 電池を機器に使用するまでの間、または機器から取り外して保管するときなどは、通風のよい、乾燥したあまり温度の上がらない場所に保管してください。

商品・施工方法についてのお問い合わせは、（株）INAX　お客さま相談センター　☎ 0562-31-0793
お客さま相談センターは、平日「9：00～19：00」対応、
土日・祝日「10：00～18：00」対応（年末年始、夏季休暇は除く）となります。

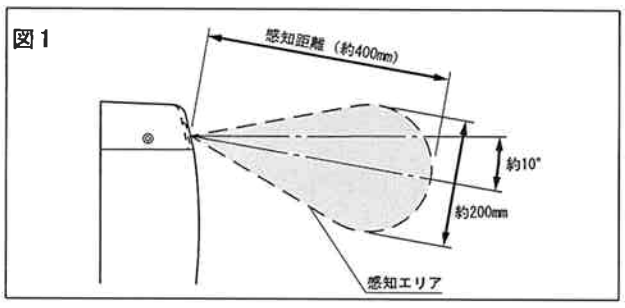
このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

● この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
● 施工後は必ず試運転を行ってください。
● お客さまに必ず本書と取扱説明書、および保証書をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

施工前のご注意

- 電気部品には水をかけないように注意してください。
- **給水圧は最低0.07MPa {0.7kgf/cm²}[流動時]、最高0.75MPa {7.6kgf/cm²}[流動時]です。**
  ※ 最低水圧を下回ると十分な流量が確保されず、鉢洗浄ができなくなる場合があります。最高水圧を上回ると故障の原因となります。
- **必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。**
- 赤外線センサーの照射角度および感知距離は下図のとおりです。なお、赤外線センサーの感知エリアには手すりなどの障害物が入らないようにしてください。(図1)
- 赤外線センサー面は傷つけないよう十分注意してください。
- 本品を向かい合わせに使用しないでください。(図2)
  ※ 誤作動を起こす恐れがあります。

図1



- 本品の正面に照明器具を設置しないでください。
  ※ 誤作動を起こす恐れがあります。
- 本品の正面の壁はできるだけ離して設置し、金属板などの鏡面のものは避けてください。(図3)
  ※ 誤作動を起こす恐れがあります。
- 本品はインバータ照明により、誤作動する場合があります。
- 太陽光線や照明灯などが直接センサーに当たらないように設置してください。
- センサー感知面が汚れたら、やわらかな布で掃除してください。
- 感知距離は着衣の色により異なります。黒っぽい着衣では感知距離が短くなることがあります。
- 商品同梱の掃除用磁石は強力な磁石を内蔵しています。電子機器や磁気カード等が故障する恐れがありますので近づけないでください。

図2

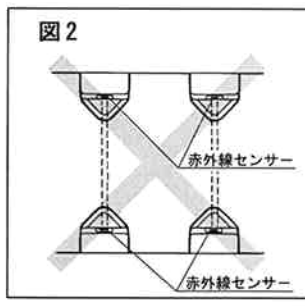
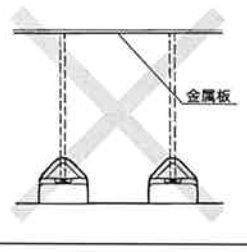


図3



[アクエナジー式の場合]

- 本品は洗浄水により駆動エネルギーを得て作動しています。使用回数が少ないと洗浄水量不足により、必要な駆動エネルギーが得られません。
  スーパーAI節水モード：10回／日以上
  (流量12L／分、1回につき1Lの洗浄をした場合)
  AI節水モード：7回／日以上
  (流量12L／分、1回につき2Lの洗浄をした場合)
  これより使用頻度が少ない場合で長時間使用しない場合には、駆動エネルギーを確保するために小便器の使用に関係なく自動洗浄を行います。また、それにより専用リチウム電池の消耗が早まります。
  ※ 出荷時はスーパーAI節水モード設定です。
  スーパーAI節水モード、AI節水モードの調整については「施工後の調節」を参照ください。

[100V式の場合]

- 万一の際の危険防止のため、電源の一次側に1ヶ所、漏電しゃ断器を設置してください。
- 電源線は、φ1.6mmまたは2.0mm² 以上のものをご使用ください。(現場手配)
- 電線管(E19)、電線管コネクター(E19)、スイッチボックス(JISC8336 102×54×35)は現場手配してください。
- 電気工事は必ず電気工事店に依頼してください。

施工手順

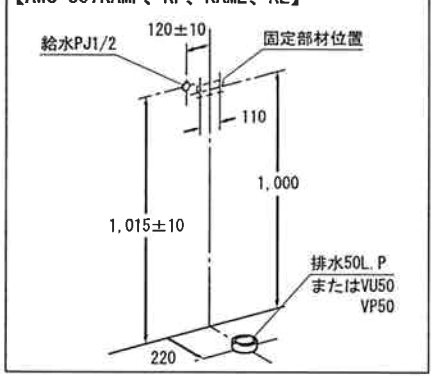
1 給排水の位置決め、取出し

施工完了図に従って給水管、排水管を取り出します。
AWU-507RAMP、RP、RAML、RL（壁掛タイプ）の場合はバックハンガーの位置を仮決めします。
AWU-807RAMP、RP、RAML、RL（床置タイプ）の場合は固定部材の位置を仮決めします。

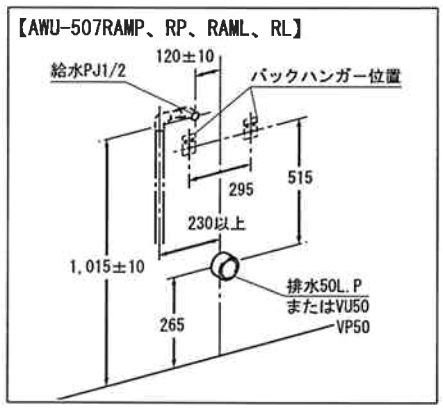
ご注意

- 壁面に、バックハンガーおよび固定部材が取り付けられるよう補強をしてください。
- 小便器取付前に給水管、排水管内に異物が混入しないようにしてください。
- 給水管にはプラグ(LF-7T)、排水管にはビニール袋などでカバーしてください。
- バックハンガーおよび固定部材が給水管と干渉しないようにしてください。
- AWU-507R（壁掛タイプ）の施工において、床下から給水管を立ち上げる場合は、バックハンガーを避けるため、中心より左側を230mm以上離してください。

【AWU-807RAMP、RP、RAML、RL】



【AWU-507RAMP、RP、RAML、RL】



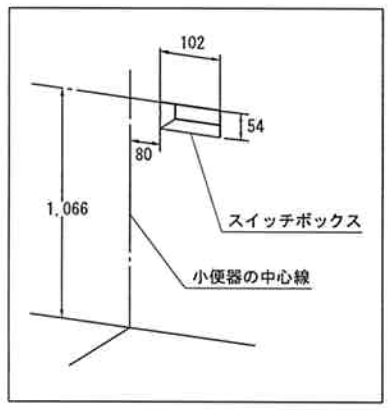
2 電源の位置決め、取出し(100V式の場合)

1. **スイッチボックスの位置決め**
   スイッチボックスを右図に示す位置に取り付けます。

   ご注意
   電線管と給水管が干渉しないように注意してください。
   ※ 電線管(E19)、電線管コネクター(E19)、スイッチボックス(JISC8336 102×54×35)は現場手配してください。

2. **電源コネクター付電源線の接続**
   (1) 電源線をスイッチボックスの中に引き込みます。
   (2) 電源コネクター付電源線を、スイッチボックスの中に引き込んだ電源線に接続します。

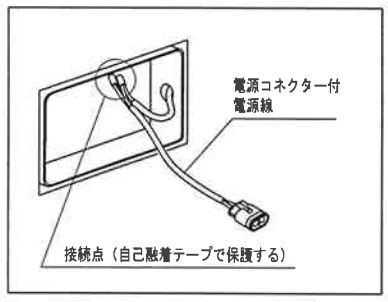
   ご注意
   この作業は電気工事になりますので、電気工事店にご依頼ください。



⚠注意

電源コネクター付電源線と電源線の接続点は、必ず自己融着テープを使用して防水処理を行ってください。
※ 感電・ショートの恐れがあります。

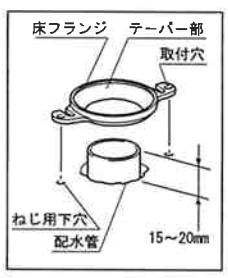
万一の際の危険防止のため、電源の一次側に1ヶ所、漏電しゃ断器を設置してください。
※ 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。



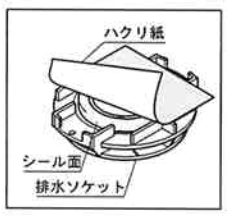
3 フランジの取付け

【AWU-807RAML、RL】

1. 排水管を、仕上面より上15～20mm分残して切断します。
   ご注意
   床フランジは、必ず仕上面上に取り付けてください。
2. 床フランジのテーパー部が床の中に入るように、排水管周囲の床を削ります。
3. 床フランジを取り付けます。
   ご注意
   - コンクリート床の場合はAYボルト(AY-21)を別途手配してください。この場合、下穴(φ7.5、深さ45mm)をあらかじめ開けてください。
   - 2個の取付穴は後壁面と平行にしてください。



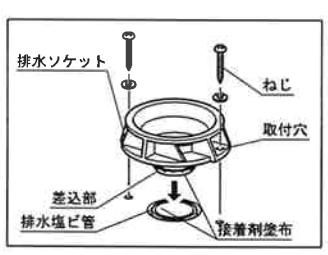
4. 排水管を、テーパー面に沿って亀裂、破損をさせないようにツバ拡げします。
   ご注意
   排水管を十分ツバ拡げできない場合は、シール性が確保できなくなる恐れがありますので、フランジと排水管のツバ部をハンダ付けしてください。



5. 排水ソケットの下面側のハクリ紙をはがします。
6. シール面を下側にし、床フランジ上に被せます。このとき、床フランジと排水ソケットの取付穴を合わせ、ねじで固定します。

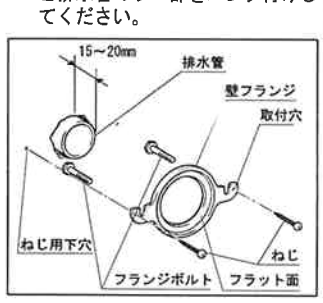
【AWU-807RAMP、RP】

1. 排水塩ビ管を、床仕上面と同一面になるように切断します。
   ご注意
   - 排水ソケットは、必ず仕上面上に取り付けてください。
   - 排水塩ビ管の切り口は、バリがでないように仕上げてください。
   - 切断位置が正確でないと、漏水、臭気発生の原因になります。
2. 排水ソケットの差込部の外側と排水塩ビ管の内側に塩ビ管用接着剤を塗って接着し、取付穴にねじを通して床に固定します。
   ご注意
   - 塩ビ管用接着剤は接着および潤滑の両方の働きをしますので、必ず使用してください。
   - 接着が不十分ですと、漏水、臭気発生の原因になります。
   - コンクリート床の場合はAYボルト(AY-21)を別途手配してください。この場合、下穴(φ7.5、深さ45mm)をあらかじめ開けてください。



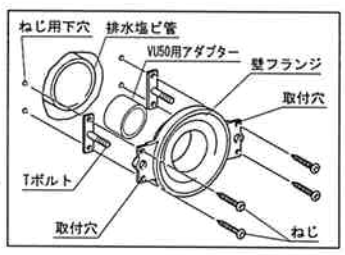
【AWU-507RAML、RL】

1. 排水管を、仕上面より外側に15～20mm分残して切断します。
   ご注意
   壁フランジは、必ず仕上面上に取り付けてください。
2. 壁フランジを取り付けます。
   ご注意
   - コンクリート壁の場合はAYボルト(AY-21)を別途手配してください。この場合、下穴(φ7.5、深さ45mm)をあらかじめ開けてください。
   - 2個の取付穴は床面と平行にしてください。
3. 排水管を、フラット面に沿って亀裂、破損をさせないようにツバ拡げします。
   ご注意
   排水管を十分ツバ拡げできない場合は、シール性が確保できなくなる恐れがありますので、フランジと排水管のツバ部をハンダ付けしてください。

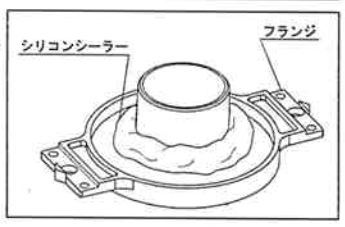


【AWU-507RAMP、RP】

1. 塩ビ排水管を、壁面と同一面になるように切断します。
   ご注意
   壁フランジは、必ず仕上面上に取り付けてください。
2. Tボルトを壁フランジ背面から通して、壁フランジを取り付けます。
   ご注意
   - コンクリート壁の場合はAYボルト(AY-21)を別途手配してください。この場合、下穴(φ7.5、深さ45mm)をあらかじめ開けてください。
   - 4個の取付穴は床面と平行にしてください。
3. フランジを塩ビ排水管に仮挿入して、ガタの有無を確認して下さい。
   ※VU管の場合、あらかじめ塩ビ用接着剤でフランジにVU50用アダプターをはめ込んでください。
4. フランジ左右にTボルトをはめ込みます。
   ガタがある場合はフランジ根元にφ10mm程度の太さで全周にシリコンシーラーを塗布してください。ガタがない場合はフランジ、および塩ビ排水管の両方に塩ビ用接着剤を塗布してください。シリコンシーラーまたは接着剤塗布後、フランジを塩ビ排水管にしっかり押し込みます。
   ※ シールおよび接着が不十分ですと、漏水、臭気発生の原因となります。



5. 木ねじでフランジを壁に固定します。
   ご注意
   - フランジは壁面に木ねじまたはAYボルトで確実に固定してください。
     ※ 固定が不完全な場合、十分なシール性が確保できず、漏水する恐れがあります。
   - 塩ビ排水管の切断面は必ず壁面と同一面になるようにしてください。
     ※ 切断面と壁面を同一にしないと、十分なシール性が確保できず、漏水する恐れがあります。
   - Tボルトはフランジ背面の凹面に確実にはまるようにしてください。
     ※ 確実にはめ込まないと十分なシール性が確保できず、漏水する恐れがあります。
   - シリコンシーラーをご使用の際は、排水管内へシリコンのはみ出しがないか確認し、はみ出している場合、シリコンをふき取ってください。
     ※ 排水管内にシリコンがはみ出していると、排水不良につながる恐れがあります。
   - シリコンシーラーは当社別売品(PBM-100G)もしくは市販品をご使用ください。



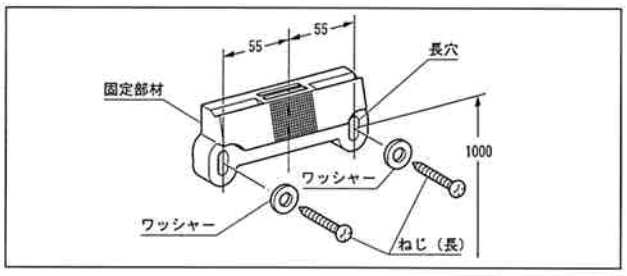
4 固定部材の固定 (AWU-807RAMP、RP、RAML、RL のみ)

F.L. より 1000mm の高さを中心に、左右 55mm の位置に固定部材長穴の中心を合わせて、ねじで２ヶ所固定します。

ご注意

- 固定部材の固定に使用するねじは、同梱されている５本のねじのうち、長いねじ２本を使用してください。
- コンクリート壁の場合、AYボルト(AY-34)を別途手配してください。この場合、下穴(φ10.5、深さ70mm)を開けてください。

※ 木ねじが電源電線や信号ケーブルに接触しないよう、注意してください。感電する恐れがあります。



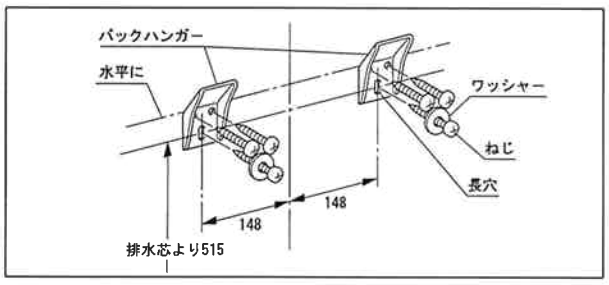
バックハンガーの仮固定および固定 (AWU-507RAMP、RP、RAML、RL のみ)

1. 排水芯より 515mm の高さを中心に、左右 148mm の位置にバックハンガー長穴の中心を合わせて、仮固定します。

ご注意

- ２個のバックハンガーが水平になるようにしてください。
- コンクリート壁の場合、AY ボルト(AY-34)を別途手配してください。この場合、下穴（φ10.5、深さ 70mm)を開けてください。

※ 木ねじが電源電線や信号ケーブルに接触しないよう、注意してください。感電する恐れがあります。

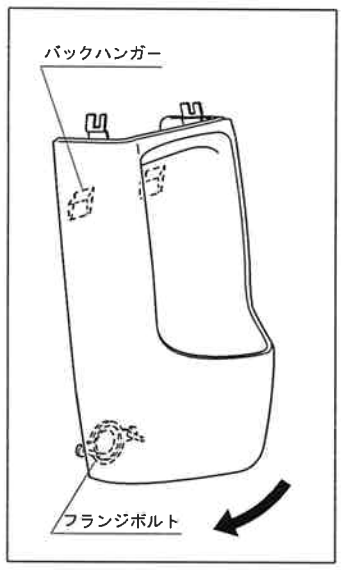


2. 小便器をバックハンガーに掛け、フランジボルトが小便器のボルト穴に入ることを確認し、外します。

ご注意

- ボルト穴にフランジボルトが入らなかったり、小便器が水平でない場合は、長穴を利用してバックハンガーを上下にスライドさせ調整してください。

3. ２個のバックハンガーを各々３本のねじで固定します。



5 シール材の取付けおよび小便器の固定

【AWU-807RAMP、RP、RAML、RL】

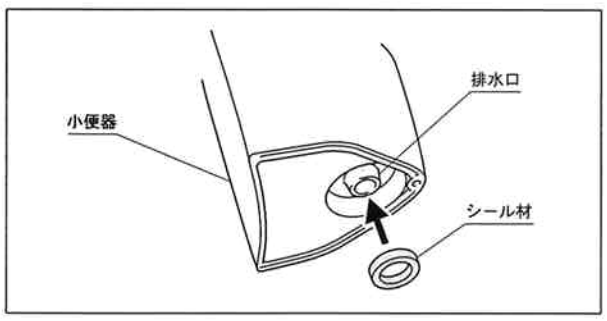
1. 小便器の排水口にシール材を取り付けます。

ご注意

排水口周囲の汚れ、湿気を十分に取り除いてください。

⚠注意

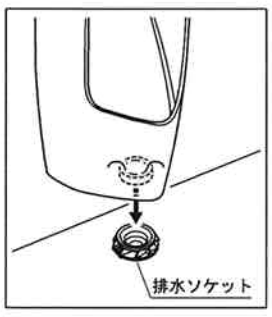
シール材は排水口の底面および側壁にしっかり密着させてください。
※ 漏水の原因となります。

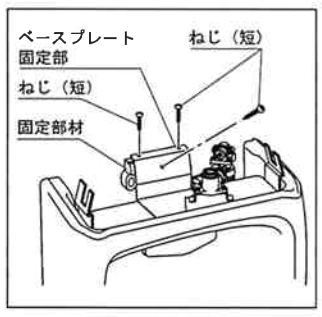


2. 排水ソケットが小便器中央にくるようにして垂直に小便器を降ろし、床とのガタがなくなるまで押さえ込みます。同時にベースプレート固定部を固定部材の上に被せ、ねじ３本で固定します。この際、上部２本を先に固定し、正面のねじは最後に固定します。

ご注意

- ベースプレートの固定には、同梱されている５本のねじのうち、短いねじ３本を使用してください。
- ベースプレート固定部と固定部材の間隔は、ねじ固定前で 10mm 程度が適正です。
- もし、上記位置関係が適正でない場合は、固定部材の長穴のねじ２本を一旦ゆるめて固定部材の位置を調整し、再度締め付けてください。





【AWU-507RAMP、RP、RAML、RL】

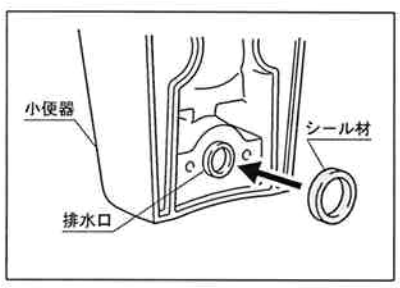
1. 小便器の排水口にシール材を取り付け、小便器をバックハンガーに掛けます。

ご注意

排水口周囲の汚れ、湿気を十分に取り除いてください。

⚠注意

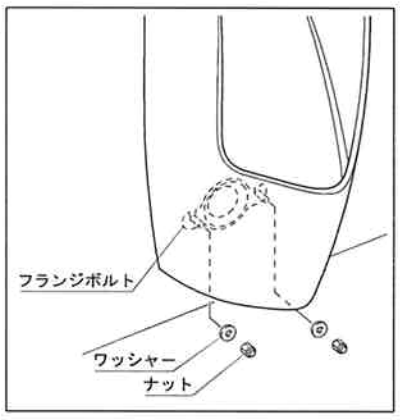
シール材は排水口の底面および側壁にしっかり密着させてください。
※ 漏水の原因となります。



2. フランジボルトにワッシャー、ナットを締めて小便器下部を固定します。

ご注意

ナットは、左右交互に均等の強さで締め付けてください。
※ 強く締めすぎますと小便器が割れる恐れがあります。

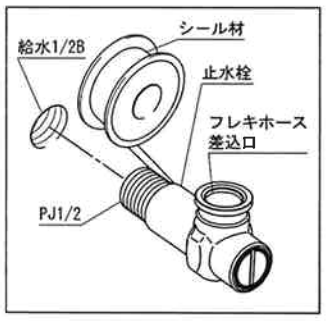


6 止水栓の取付け

止水栓接続部にシール材を巻き、給水管にねじ込みます。このとき、フレキホース差込口が上向きになるように取り付けてください。

ご注意

止水栓を取り付ける前には必ず通水し、給水管内のゴミなどを取り除いてください。止水栓は、必ず小便器を壁に固定した後に取り付けてください。フレキホース差込口は、工具等で傷をつけないでください。漏水の原因となります。

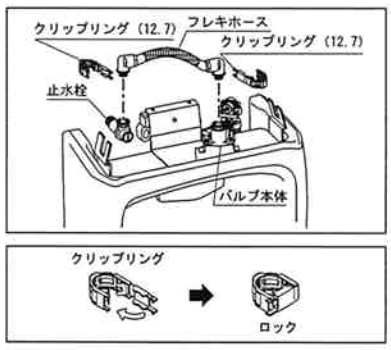


7 フレキホースの取付け

クリップリング(12.7)を使用して、止水栓とバルブ本体の間にフレキホースを接続します。

※ フレキホースは、後方に取り回して接続してください。前方に取り回すと、フレキホースとカバーが干渉し、カバーが取り付かなくなる恐れがあります。

※ 取付け後、クリップリングをロックし、一回転させて、確実に取り付いたことを確認してください。確実に取り付いていないと、漏水する恐れがあります。



8 コネクターの接続

【アクエナジー式】

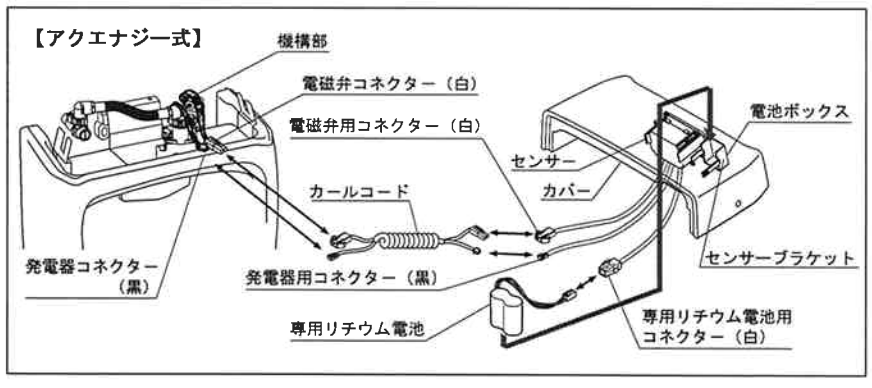
1. カバー内のセンサーからの電磁弁用コネクター(白)と機構部の電磁弁コネクター(白)を、カールコードを中継して接続します。
2. センサーからの発電機用コネクター(黒)と機構部の発電器コネクター（黒）を、カールコードを中継して接続します。
3. センサーからの専用リチウム電池用コネクター(白)と付属品の専用リチウム電池のコネクター（白）を接続します。
4. 専用リチウム電池をカバー内の電池ボックスに入れ込み、フタをします。

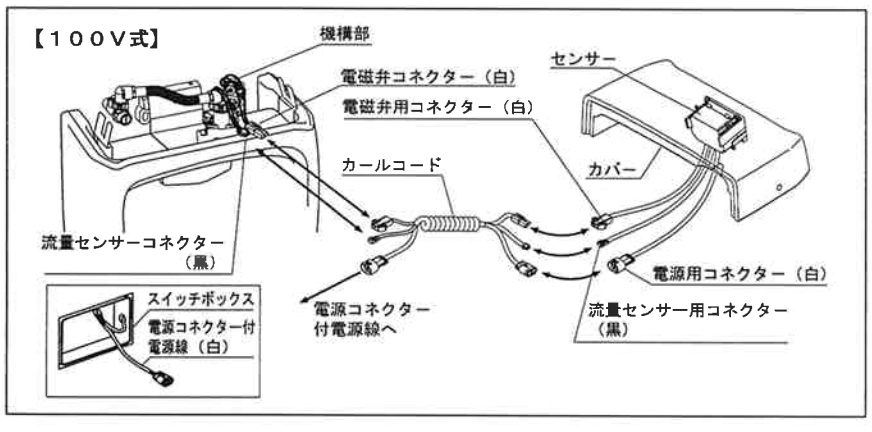
※ 必ずカバーを安定した場所に置いて作業してください。
※ コネクターの形状は３種類ありますので、形状が合わないときは無理に接続せずに、適合するものと接続してください。

【１００V式】

1. カバー内のセンサーからの電磁弁用コネクター(白)と機構部の電磁弁コネクター(白)を、カールコードを中継して接続します。
2. センサーからの流量センサー用コネクター(黒)と機構部の流量センサーコネクター（黒）を、カールコードを中継して接続します。
3. センサーから電源用コネクター(白)とスイッチボックスからの電源コネクター付電源線を、カールコードを中継して接続します。

※ 電源用コネクターは、必ず最後に接続してください。もし電源用コネクターを最後に接続しないと、黄色ランプ（故障表示ランプ）が点滅して作動しなくなります。その場合は、電源用コネクターを接続し直してください。
※ 必ずカバーを安定した場所に置いて作業してください。
※ コネクターの形状は３種類ありますので、形状が合わないときは無理に接続せずに、適合するものと接続してください。

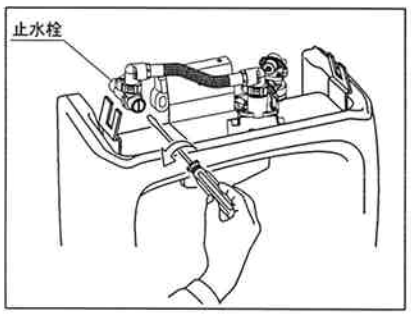


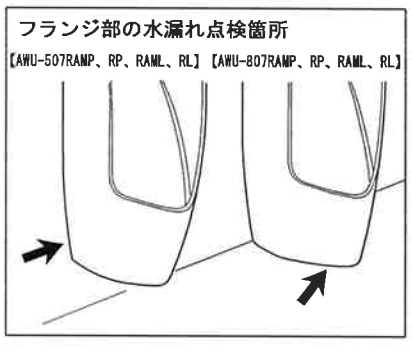


9 水漏れ点検

1. 止水栓を左に回して開けます。
2. カバーのセンサー窓に手をかざし(約10秒)、感知させます。
3. 手を離して洗浄させ、フレキホース接続部やフランジ部に漏水がないことを確認します。

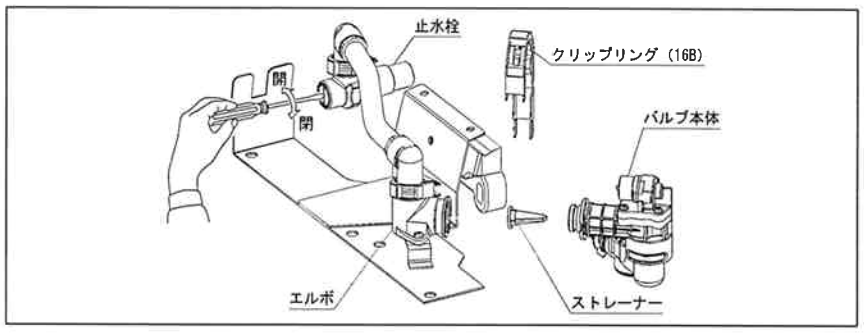
※ フランジ部は数回繰り返して洗浄しないと確認が困難な場合があります。





10 ストレーナーの掃除

1. 止水栓を右に回して閉めます。
2. クリップリング（16B）を外し、エルボからバルブ本体を外します。
3. バルブ本体についているストレーナーのゴミ等を、水洗いして取り除きます。
4. 逆の手順でバルブ本体を取り付けます。
   ※ クリップリング（16B）を取り付けた後、ロックし、一回転させて確実に接続されたことを確認してください。
5. 止水栓を左に回して開け、通水します。
   ※ このとき、適正流量になるよう流量を調節してください。詳細は「流量の調節」を参照してください。

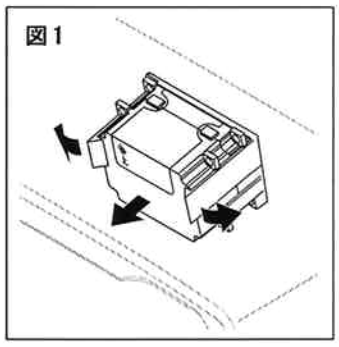


施工後の調節

洗浄機能は工場出荷時に次のように設定されています。

- 予備洗浄..... する
- 本洗浄..... スーパーAI節水モード（1～2L）
- 設備保護洗浄..... 各節水モード対応
- 凍結防止..... しない

下記の理由で調節する場合は、カバーの裏についているセンサー固定用のツメを広げてセンサーを取り外し（図1）、右記の調節方法に従ってセンサーを調節してください。



● **予備洗浄の設定**
「予備洗浄する」、「予備洗浄しない」のいずれかに設定できます。

● **本洗浄の設定**
1～2Lの水量を流す「スーパーAI節水モード」、または従来と同じ2～4Lの水量を流す「AI節水モード」、常に4Lの水量を流す「固定モード」のいずれかに設定できます。

● **設備保護洗浄の設定**
「各節水モード対応」、「24時間毎4L」、「しない」、「2時間毎4L」のいずれかに設定できます。
「各節水モード対応」のときの洗浄パターンは以下の通りです。
・スーパーAI節水モード：2時間連続して使用者がいない場合、自動的に2L洗浄
・AI節水、固定モード　：8時間連続して使用者がいない場合、自動的に4L洗浄
※「24時間毎4L」、「しない」に設定した場合、排水管に尿石が溜まり、つまりやすくなります。また尿臭を感じる恐れがあります。よって、「各節水モード対応」での使用をおすすめします。

● **凍結防止機能の設定**
「凍結防止しない」、「凍結防止する」、のいずれかに設定できます。
「凍結防止する」に設定した場合、冬季一般地での冷え込みによる製品の凍結破損を防止するため、外気温を検出し、一定時間間隔で自己吐水し、凍結しにくくします。
※ 寒冷地には対応しておりません。寒冷地で使用された場合、凍結により破損する恐れがあります。

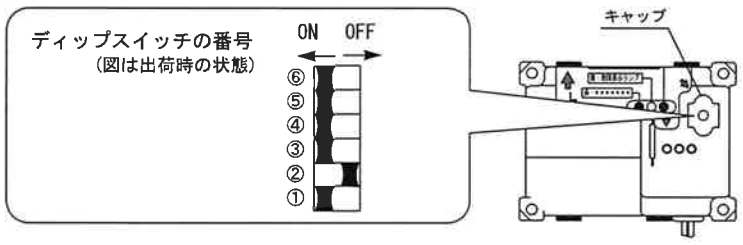
● **動作の確認**
【アクエナジー式】
止水栓を開けて通水します。
【100V式】
元電源を入れ、止水栓を開けて通水します。

1. 予備洗浄動作の確認
   本製品の前に立ち、予備洗浄をすることを確認します。（「予備洗浄する」に設定の場合）
   また、洗浄中のみセンサー正面の緑色ランプが点灯することを確認してください。
2. 本洗浄動作の確認
   本製品の前から離れて、本洗浄することを確認します。
   また、洗浄中のみセンサー正面の緑色ランプが点灯することを確認してください。
3. 感知距離の確認（100V式のみ）
   人が来た時のみセンサー正面の赤色ランプが点灯することを確認してください。
4. 故障表示ランプの確認
   本製品には故障表示ランプが付いています。
   センサー正面の黄色ランプが点滅していないことを確認してください。
   （アクエナジー式の場合）
   ランプが点滅している場合は、下表の内容を確認してください。
   （100V式の場合）
   ランプが点滅している場合は、一度電源コネクターを差し直してください。（または電源を入れ直してください。）それでもランプが点滅している場合は、下表の内容を確認してください。

確　認　内　容
・センサーの故障
・電磁弁コネクターの外れ、電磁弁の故障、電磁弁コードの断線（電磁弁側・センサー側）
・流量センサーの故障（100V式）
・流量センサーコネクターの外れ、流量センサーコードの断線（流量センサー側・センサー側）
・発電器コネクターの外れ、発電器コネクターコードの断線（発電器側・センサー側）

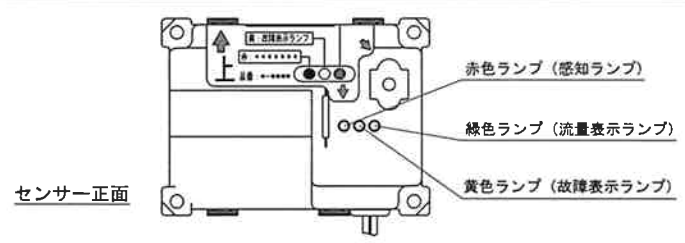
■ 洗浄仕様の設定

センサーの表側にあるキャップを外し、小型のマイナスドライバー等でスイッチを左右にON・OFFさせ調節します。調節は下図に従って行ってください。



	機　能	動　作	
スイッチ①	予備洗浄の設定		ON：予備洗浄する
			OFF：予備洗浄しない
スイッチ②③	本洗浄の設定	③ ②	AI節水モード
		③ ②	スーパーAI節水モード
		③ ②	機能なし（設定しないでください）
		③ ②	固定モード
スイッチ④⑤	設備保護洗浄の設定	⑤ ④	各節水モード対応
		⑤ ④	設備保護洗浄しない
		⑤ ④	24時間毎4L
		⑤ ④	2時間毎4L
スイッチ⑥	凍結防止の設定		ON：凍結防止しない
			OFF：凍結防止する

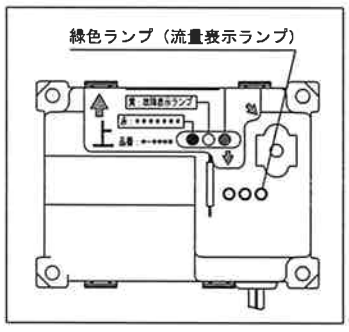
●センサーの表示ランプ



※ アクエナジー式の場合、専用リチウム電池接続後5分間のみ、感知すると赤色ランプが点灯します。

■ 流量の調節

止水栓を開いて、適正流量になるように流量を調節します。
適正流量の目安は、センサーの緑色ランプが点灯する流量です。
※ 小便器への水の流れ具合を見ながら、鉢内に水がまんべんなくまわるように調整してください。



緑色ランプ（流量表示ランプ）の点灯状態

点灯状態	流量
遅い点滅	少なすぎる
点　灯	適　正
速い点滅	多すぎる

※ 止水する寸前は、流量が下がるため、点滅する場合がありますが、故障ではありません。

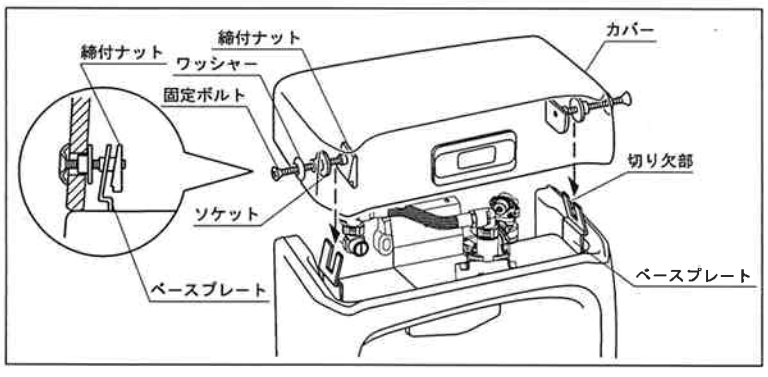
カバーの取付け

1. カバーに固定ボルト、ワッシャー、およびソケットを取り付け、締付ナットをゆるめに締めた状態で、締付ナットがベースプレートの左右切り欠き部の内部にくるようにカバーをかぶせます。
2. カバーの両側面にある固定ボルトを締め付けて、カバーを固定します。

ご注意

● 固定ボルトは、左右を交互均等に締めてください。
※ 左右を交互均等に締めないと、カバーと小便器にズレを生じることがあります。

● 必ず同梱品のカバーを組み合わせてください。
※ 同梱品以外のカバーと組み合わせると、ガタツキを生じる場合があります。



作動確認

正常な洗浄動作を行うことを確認します。

1. 使用者が本製品の前に立ったときに予備洗浄し、立ち去った後に本洗浄することを確認します。
2. 洗浄水が小便器から飛び出さず、鉢面が洗浄されることを確認します。
3. スプレッダー取付角度が水平でない場合、適正な洗浄ができません。万一、スプレッダーが傾いて取り付けられている場合は、手で回して水平にしてください。